

令和6年度実施

静岡県警察官A・B採用試験案内

警察官A (第1回)

警察官Aは、大学を卒業した人又は卒業する見込みの人が対象です。
「高度専門士※」の称号を取得又は取得見込みの人も警察官Aでの受験となります。
※ 専門学校で修業年数が4年以上の学科を卒業した人は高度専門士の資格を有する場合があります。

警察官B (第1回)

警察官Bは、警察官A以外の人を対象です。
今回の試験は、令和7年3月に高等学校を卒業する見込みの人は受験できません。

☆受験資格の詳細は、静岡県警察本部警務課採用チーム（裏表紙参照）までお問合せください☆

- **受験申込手続は全てインターネットから短時間で可能！**
～スマートフォンからも手続が可能です。～
詳しくは、8ページを確認してください。
- **警察官B区分の春試験を新設！**
令和6年10月から採用に応じられる人を対象とした試験です。詳しくは、1ページを確認してください。
- **経歴評定の加点をアップ！**
資格の級位等によって加点の配点を段階的に上げました。詳しくは、6ページを確認してください。
- **体力試験の合否判定基準を緩和！**
詳しくは、5ページを確認してください。
- **情報処理(サイバー犯罪捜査)区分
教養試験を廃止！専門試験の配点アップ！体力試験の配点ダウン！
経歴評定もプラス！**
第1次試験では、専門試験と小論文試験を行います。詳しくは、3ページを確認してください。



◆ 第1次試験日 令和6年5月12日(日)

静岡県立大学 草薙キャンパス

◆ 試験会場

※試験会場は変更になる場合があります。
その際は、受験申込者に文書等でお知らせするほか、静岡県警察ホームページに掲載します。

◆ 受付期間 3月1日(金)～4月5日(金)

- ◇ インターネット受付は4月5日(金)午後5時15分までです。
- ◇ 受験申込手続 8ページを確認してください。
- ◇ 問合せ先 静岡県警察本部警務課採用チーム
フリーダイヤル 0120-489276

受験申込



県警察ホームページ採用情報へアクセス！
採用情報内「受験申込」から申込み！

1 採用予定人員等

区 分			採用予定人員	主な職務内容	主な勤務先
警察官A (令和6年10月又は 令和7年4月採用予定)	一 般	男性	67人	○個人の生命・身体・財産の保護 ○犯罪の予防・捜査 ○被疑者の逮捕 ○交通の指導・取締 等の任務に従事します。	警察本部 及び 警察署
		女性	15人		
	自己推薦	男性	2人		
		女性	2人		
	情報処理 (サイバー犯罪捜査)		2人 (将来、サイバー犯罪関連業務 に従事することを志す人)		
警察官B (令和6年10月採用予定)	一 般	男性	15人		
		女性	2人		

- 採用予定人員は変更になる場合があります。
- 申込みできる区分は一つに限ります。申込後の区分の変更は原則としてできません。
- 情報処理(サイバー犯罪捜査)区分は、情報処理に関する専門的知識を活かし、主にサイバー犯罪の捜査、情報収集、データ解析等の任務に従事することを想定しています。試験の程度は、国家試験における情報処理技術者試験のうち、基本情報技術者合格相当以上です。
- 採用時期については、7ページを確認してください。

2 受験資格

(1) 学歴、年齢等

区 分		学 歴	年 齢 等
警察官A	一 般	学校教育法(昭和22年法律第26号)による大学(短期大学を除く。)を卒業した人若しくは令和7年3月31日までに卒業する見込みの人又は静岡県人事委員会が同等の資格があると認める人	平成元年4月2日以降に生まれた人
	自己推薦		
	情報処理 (サイバー犯罪捜査)		
警察官B	一 般	次に掲げる人以外の人 ・ 学校教育法による大学(短期大学を除く。)を卒業した人若しくは令和7年3月31日までに卒業する見込みの人又は静岡県人事委員会が同等の資格があると認める人 ・ 受験申込日現在、学校教育法による高等学校に在学中の人又は静岡県人事委員会が同等の資格があると認める人	平成元年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた人

※ 高度専門士の称号を取得又は取得見込みの人は警察官A区分での受験となります。

※ 専門学校で修業年数が4年以上の学科を卒業した人は高度専門士の資格を有する場合がありますので、必ず御自身の卒業証書等を確認してください。学歴と異なる区分を受験したことが発覚した場合は、失格となる場合があります。

受験資格の詳細は静岡県警察本部警務課採用チーム(裏表紙参照)までお問合せください。

(2) 次のいずれかに該当する人は、受験することができません。

ア 日本国籍を有しない人

イ 地方公務員法第16条各号のいずれかに該当する人

- 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- 静岡県において懲戒免職の処分を受け、当該処分の日から2年を経過しない人
- 日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

ウ 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けている人(心神耗弱を原因とするもの以外)

3 試験日・試験会場

試験別		試験日		試験会場
第1次試験	警察官A	5月12日 (日)	○ 8:30 入室開始 ○ 9:00 着席 ○ 13:00 終了	静岡県立大学 草薙キャンパス (静岡市駿河区谷田52-1) 試験会場を間違えないようにしてください。
	警察官B		○ 8:50 入室開始 ○ 9:20 着席 ○ 13:00 終了	
第2次試験 (※)	警察官A 警察官B	第1日	5月25日(土)又は26日(日) 第1次試験合格通知書で指定する1日	静岡県警察学校 (藤枝市下之郷1685-1)
		第2日	6月13日(木)～6月28日(金) 第1次試験合格通知書で指定する1日	静岡市内において実施しますが、詳細については、第1次試験合格者に通知します。

※ 第2次試験は、2日に分けて行います。それぞれの日に行う試験内容は2～3ページを参照してください。

<注意事項>

- 当日、試験会場には駐車できません。
- 試験会場には問合せをしないでください。問合せ先は裏表紙をご覧ください。
- 試験日程及び試験会場は変更になる場合があります。

4 試験の方法

(1) 警察官A (一般区分)

試験別	実施日	内 容		
第1次試験	第1次試験 実施日	教養試験 (120分)	100点	大学卒業程度の一般的知識及び知能についての択一式(40題)による筆記試験 [知識分野(25題を全問解答)] 社会科学(10)、人文科学(8)、自然科学(7) [知能分野(15題を全問解答)] 文章理解(8)、判断推理・数的推理・資料解釈(7) ※各出題分野の科目横にあるカッコ内の数字は出題数です。
		経歴評定	6～24点 (加点)	別欄に掲げる経歴(武道、語学、情報処理、簿記)を有する申請者について加点します。資格を持たない人も受験できます。詳しくは6ページを参照
第2次試験	第1日	小論文試験 (50分)	50点	課題に対する理解力、表現力、文書能力(漢字能力を含む)等についての記述式による筆記試験 小論文試験は第1次試験日に実施しますが、採点は第2次試験で行います。 第1次試験不合格者及び第2次試験における面接試験を受験しない人の小論文は採点しません。また、第1次試験日に小論文試験を受験しなかった場合は、第1次試験は不合格となります。
		適性検査	—	警察官としての適性についての検査
		身体測定	—	警察官としての職務遂行に必要な身体的条件を有するか否かについての測定検査(四肢・関節機能検査)※検査等の項目及び合格判定基準は5ページを参照
	第2日	体力試験	150点	警察官としての職務遂行に必要な体力についての試験(腕立て伏せ、上体起こし、反復横跳び、握力、立ち幅跳び)※体力試験の方法等は5ページを参照
		面接試験	600点	人物についての個別面接及び集団討論による試験(第2次試験第1日で不合格となった人(面接試験受験対象者以外の人)は受験できません。)
第1次試験 合格発表後	身体検査	—	胸部疾患、伝染性の病気、視力、色覚、聴力等についての検査 医療機関において検査した身体検査票を第1次試験合格通知書で指定する日までに提出(指示通り提出がされない場合は第2次試験辞退とみなします。)	

(2) 警察官A (自己推薦区分)

試験別	実施日	内 容		
第1次試験		教養試験 (120分)	50点	一般区分と同じ内容です。(40題)
第2次試験	第1次試験 実施日	アピール 論文試験 (50分)	50点	自分の経験や知識等を警察業務に生かせるかをアピールする記述式による筆記試験(漢字能力を含む) アピール論文試験は第1次試験日に実施しますが、採点は第2次試験で行います。 第1次試験不合格者及び第2次試験における面接試験を受験しない人のアピール論文は採点しません。また、第1次試験日にアピール論文試験を受験しなかった場合は、第1次試験は不合格となります。
		適性検査	—	一般区分と同じ内容です。
	第1日	身体測定	—	
		体力試験	100点	
	第2日	面接試験	700点	自分の経験等を警察業務に生かせるかのアピールや人物についての個別面接及び 集団討論による試験(第2次試験第1日で不合格となった人(面接試験受験対象者以外の人)は受験できません。)
第1次試験合格発表後	身体検査	—	一般区分と同じ内容です。	

(3) 警察官A (情報処理(サイバー犯罪捜査)区分)

試験別	実施日	内 容		
第1次試験	第1次試験 実施日	専門試験 (120分)	150点	サイバー犯罪捜査等に従事する警察官として必要な情報通信技術等に関する知識 (ハードウェア、ソフトウェア、データ構造、通信ネットワーク、サイバーセキュリティ等)についての記述式による筆記試験
		経歴評定	6~24点 (加点)	一般区分と同じ内容です。
		小論文試験 (50分)	50点	
第2次試験	第1日	適性検査	—	一般区分と同じ内容です。
		身体測定	—	
		体力試験	100点	
	第2日	面接試験	600点	
	第1次試験合格発表後	身体検査	—	

(4) 警察官B (一般区分)

試験別	実施日	内 容		
第1次試験	第1次試験 実施日	教養試験 (100分)	100点	高校卒業程度の一般的知識及び知能についての択一式(40題)による筆記試験 [知識分野(25題を全問解答)] 社会科学(8)、人文科学(10)、自然科学(7) [知能分野(15題を全問解答)] 文章理解(8)、判断推理・数的推理・資料解釈(7) ※各出題分野の科目横にあるカッコ内の数字は出題数です。
		経歴評定	6~24点 (加点)	警察官A(一般区分)と同じ内容です。
第2次試験	第1次試験 実施日	作文試験 (50分)	50点	課題に対する理解力、表現力、文書能力(漢字能力を含む)等についての記述式による筆記試験 作文試験は第1次試験日に実施しますが、採点は第2次試験で行います。 第1次試験不合格者及び第2次試験における面接試験を受験しない人の作文は採点しません。また、第1次試験日に作文試験を受験しなかった場合は、第1次試験は不合格となります。
		適性検査	—	警察官A(一般区分)と同じ内容です。
	第1日	身体測定	—	
		体力試験	150点	
	第2日	面接試験	600点	
第1次試験合格発表後	身体検査	—		

■ 各試験区分の対比（警察官A対象）

試験別	試験科目	一般		自己推薦		情報処理（サイバー犯罪捜査）	
		内容	配点	内容	配点	内容	配点
第1次試験	教養試験	40題/120分	100点	40題/120分	50点	なし	二
	専門試験	なし	—	なし	—	記述式による筆記試験/120分	150点
	経歴評定	武道、語学、 情報処理、簿記	6~24点 (加点)	なし	—	武道、語学、 情報処理、簿記	6~24点 (加点)
第2次試験	小論文試験	575字/50分 (課題あり)	50点	アピール論文試験 575字/50分 (課題なし)	50点	575字/50分 (課題あり)	50点
	体力試験	5種目	150点	5種目	100点	5種目	100点
	面接試験	個別面接、集団討論	600点	個別面接、集団討論	700点	個別面接、集団討論	600点

※身体検査、身体測定、適性検査については、試験区分による違いはありません。

自己推薦区分の求める人材像（警察官A対象）

警察業務に生かすことができる資格や卓越した身体能力、専門知識、技能、豊かな人間性等を有する方を募集します。
自分の持つ経験や知識等が警察業務に生かされるとアピールできる方であれば、どなたでも受験できます。

～求める人物像の例～

語学能力

- ・英語、ポルトガル語、中国語、ベトナム語及びタガログ語等の会話能力
- ・海外への留学又は勤務経験

社会経験等

- ・民間企業等で培った営業スキルやプレゼンテーション能力、折衝能力等
- ・日本数学オリンピック等の大会出場者

身体能力

- ・スポーツ等において、全国レベルの大会での実績等
- ・野球、サッカー等のプロリーグ在籍経験

人間性

- ・スポーツ等で身に付けた継続力や精神力
- ・ボランティア等の社会貢献活動の経験

資格・技能等

- ・車両、船舶、ヘリコプター等の運転技能
- ・公認心理師・臨床心理士等の資格保有

財務会計能力

- ・金融機関、会計事務所等での勤務経験
- ・公認会計士、税理士等の資格保有

情報処理能力

- ・IT企業での勤務経験
- ・学校等で情報処理を専攻
- ・インターネットに精通し、通信記録の分析ができる
- ・情報処理資格保有等

～過去の自己推薦区分合格者のアピール内容～

- 中国への留学経験があり、中国語と中国文化の知識が豊富
- モトクロスバイクの世界選手権に出場等、高いオートバイ操縦技術がある
- 金融機関での勤務経験があり、財務や金融の知識に長けている
- 航空会社での勤務経験があり、高いコミュニケーション能力がある
- バスケットボールで全国大会出場経験があり、高い身体能力がある
- 河川環境整備等の社会貢献をしてきた経験がある
- 等

<第1次試験の注意事項及び持ち物>

- 受験票に写真を貼って持参してください。（試験当日、原則として写真のない受験票では受験できません。）
- マスクの着用については個人の判断に委ねることとしますが、試験会場は不特定多数の人が集まる場所ですので、可能な限り着用に御協力をお願いします。
- 教養試験の解答用紙にはマークシートを使用し、採点はコンピュータで行いますので、HBの鉛筆又はHBのシャープペンシル及び消しゴム（よく消えるもの）を必ず持参してください。
- 試験時間中、携帯電話機等の通信機器は使用できません。
携帯電話や腕時計等で、通信機能、録音、録画及び撮影機能のいずれかを有する機器を時計代わりに使用することもできませんので、必ず計時機能のみの時計を持参してください。
- 経歴評定を申請した人は、試験当日に確認をしますので、証明書類の原本と写し（警察本部への提出用）1部を持参してください（教養試験開始前までに、原本により資格等の確認ができない場合（証明書類の写しのみでは確認できません。）は評定しません。）。
- ※ 経歴評定の申請方法は、6ページを確認してください。
- 第1次試験は過ごしやすい服装で受験してください。
- 試験会場は変更となる場合がありますので、発行された受験票を必ず確認し、試験会場を間違えないようにしてください。

■ 身体検査等の項目及び合格判定基準

検査項目		合格判定基準
身体検査	視力	両眼とも裸眼視力が0.6以上又は矯正視力が1.0以上であること。
	その他	色覚等が警察官としての職務遂行に支障のない状態であること。
身体測定		四肢、関節機能等が警察官としての職務遂行に支障のない状態であること。

■ 体力試験の方法

種 目	実 施 方 法
腕立て伏せ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 両手の間隔を肩幅と同じに取り、両足をそろえ、腕は床に対して垂直に立て、概ね90度くらいまで曲げ、完全に肘が伸びるまで戻す。 ○ おおむね2秒に1回のペースで実施し、何回できるか測定する。 ○ 男性は40回、女性は30回までカウントする。
上体起こし	<ul style="list-style-type: none"> ○ 両ひざを曲げ、あおむけに寝た姿勢で、両手を軽く握り、両腕を胸の前で組む。 ○ 「始め」の合図で両ひじと両ももがつくまで上体を起こす。 ○ 30秒間で何回上体を起こすことができるかを測定する。
反復横跳び	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1メートル間隔に引かれた3本のライン上でサイドステップする。 ○ それぞれのラインを通過するたびに1回とする。 ○ 20秒間で何回サイドステップすることができるかを測定する。
握 力	<ul style="list-style-type: none"> ○ 直立の姿勢で握力計を身体や衣服に触れないようにしてカー杯握りしめる。 ○ 左右2回ずつ測定する。
立ち幅跳び	<ul style="list-style-type: none"> ○ つま先が踏み切り線の前端にそろうように立ち、両足で踏み切って前方へ跳び、跳躍した距離を計測する。 ○ 2回実施する。

■ 体力試験の不合格判定基準

下記の不合格判定基準値に該当する種目が2種目以上ある人は不合格となります。

種 目	体力試験不合格判定基準値	
	男 性	女 性
腕立て伏せ	19回以下	5回以下
上体起こし	21回以下	15回以下
反復横跳び	39回以下	32回以下
握 力	32kg以下	19kg以下
立ち幅跳び	158cm以下	116cm以下

■ 経歴評定（一般区分及び情報処理区分の受験者のみ）

第1次試験当日までに下記資格等を取得し、かつ証明書類により資格を証明できる人は申請が可能です。

経歴評定の対象及び申請方法は次のとおりです。

経歴内容 対象資格等			区分			コード 番号	証明書類
			A	B	C		
			24点	12点	6点		
武道	柔道	公益財団法人講道館の段位に限る。	3段以上	2段	初段	1	講道館の段位証書(賞状)、講道館館員証、段位証明書(講道館において発行したものに限る。)
	剣道	公益財団法人全日本剣道連盟の段位に限る。	3段以上	2段	初段	2	全日本剣道連盟の段位証書(賞状)、剣道手帳(各都道府県の剣道連盟において発行したものに限る。)、段位証明書(各都道府県の剣道連盟において発行したものに限る。)
語学	英語	実用英語技能検定(英検)	準1級以上	2級	—	3	合格証明書、スコアレポートなど
		TOEIC	730点以上	470~730点未満	—		
		TOEFL:「PBT」	550点以上	460~550点未満	—		
		TOEFL:「CBT」	213点以上	140~213点未満	—		
		TOEFL:「iBT」	79点以上	48~79点未満	—		
		国際連合公用語英語検定(国連英検)	B級以上	C級	—		
	中国語	中国語検定	準1級以上	2級、3級	—	4	
		漢語水平考試	6級	5級、4級※	—		
		中国語コミュニケーション能力検定(TECC)	700点以上	400~700点未満	—		
	韓国語	韓国語能力試験	5級以上	4級	—	5	
		ハングル能力検定	2級以上	準2級	—		
	ポルトガル語	外国人のためのポルトガル語検定試験	上中級以上	中級	—	6	
		外国語としてのポルトガル語検定試験	中級以上	初級	—		
スペイン語	スペイン語技能検定	2級以上	3級、4級	—	7		
ベトナム語	実用ベトナム語技能検定	3級以上	4級	—	8		
	国際ベトナム語能力試験	B2以上	B1	—			
	ベトナム語能力評価試験	B2以上	B1	—			
情報処理	情報処理技術者試験により取得した経済産業省管轄の国家資格	応用情報技術者試験以上	基本情報技術者試験 情報セキュリティマネジメント試験	ITパスポート試験	9	合格証明書など	
簿記	日商簿記検定	1級	2級	—	10	合格証書、合格証明書など	
	全経簿記検定	上級	1級	—			
	全商簿記検定	—	1級	—			

※ 4級の場合は点数が195点以上、旧漢語水平考試(2009年度以前)4級以上

【経歴評定申請方法】

区分	方法
経歴評定の申請	申込み時、経歴評定申請欄で区分を選択して内容を入力する。 対象資格の区分に応じた点数が加点されます。(A:24点、B:12点、C:6点の加点) <u>対象資格を複数有する人でも、評定は1つに限りますので、いずれか1つを選択してください。</u>
第1次試験当日	証明書類の原本※と写し(警察本部への提出用)各1部を試験会場に持参してください。教養試験開始前までに、原本により資格等の確認ができない場合(証明書類の写しのみでは確認できません。)は評定しません。 ※ 証明書の氏名と現在の氏名が異なる場合は、それを証明する書類(免許証・戸籍謄本等)を持参してください。上記対象資格以外の資格を申請しても評定しません。 ※ TOEICのデジタル公式認定証の発行を受けている人は、デジタル公式認定証を印字したものの1部を持参してください(証明書類の原本と写しを持参する必要はありません。)

5 合格から採用まで

(1) 最終合格者

最終合格者は、採用候補者名簿に登載され、その中から静岡県警察本部長が採用者を決定します。

これまでの例によると、合格者はおおむね採用されますが、退職者の状況等によっては、採用時期が遅れ、または採用されないこともあります。

(2) 採用時期

区 分	採用時期
警察官A	原則、令和7年4月1日以降ですが、申込書の採用時期(○か×)欄の『令和6年10月でも可能』に『○』をつけた人又はそれ以外の方でも大学を卒業した人若しくは令和6年9月30日までに卒業する見込みの人は、本人の意向を確認した上で、令和6年10月に採用されることがあります。
警察官B	原則、令和6年10月1日に採用されます。 ※ただし、採用者数が少ない等の理由により、令和7年4月1日採用となることがあります。

ただし、大学卒業見込みで受験した人（静岡県人事委員会が同等の資格があると認める人を含む。）は、令和7年3月31日までに卒業又は修了できなかった場合は、採用されません。

(3) 採用者

試験区分にかかわらず静岡県巡査に任命され、静岡県警察学校（全寮制）に入校し、警察官A区分での採用者は6か月間、警察官B区分での採用者は10か月間の初任教養を受けた後、県内の警察署に配置され勤務につきます。


- 最終合格者は、第1次試験の得点と第2次試験の得点を合計した総合得点の高い順に決定します。
- 第1次試験、第2次試験の各試験、検査（測定）等では、基準を満たしていないものがある場合には、不合格となります。

〈参考〉 令和5年度実施警察官A・B採用試験の結果

試験区分		受験者(人)	合格者(人)	倍率(倍)	
警察官A (第1回)	一般	男性	215	90	2.4
		女性	82	29	2.8
	自己推薦	男性	7	4	1.8
		女性	4	3	1.3
情報処理	—	2	1	2.0	
警察官A (第2回)	一般	男性	73	8	9.1
		女性	19	3	6.3
警察官B	一般	男性	226	80	2.8
		女性	64	18	3.6
	自己推薦	男性	3	1	3.0
		女性	4	0	—
情報処理	—	0	0	—	

6 受験申込手続

インターネット（電子申請）で申し込んでください。

申込みの流れ	<p>■インターネットからの申込みには次のものがが必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン又はスマートフォン ・本人のメールアドレス（スマートフォンのメールアドレス可） ・受験票を印刷するためのプリンタ（個人で所有していなくても印刷できる環境があれば可） <p>「ふじのくに電子申請サービス」からお申し込みください。</p>
	<p>インターネットにアクセス</p> <p>静岡県警察採用情報のホームページにある「受験申込」から、「ふじのくに電子申請サービス」にアクセスします。 https://s-kantan.com/pref-shizuoka-u/</p> 
	<p>利用者登録</p> <p>はじめに「利用者登録」をして「利用者ID」を取得します。 利用者登録は、申込期間前でも行うことができます。</p> <p>※登録時に取得した利用者IDとパスワードは申込み、受験票ダウンロード時に必要になります。必ず控えておいてください。紛失しても、利用者IDやパスワードのお問合せには一切お答えできません。 ※利用者登録だけでは、受験申込にはなりません。</p>
	<p>受験申込</p> <p>申込期間中、申込入力画面に必要な事項を入力して送信します。 <u>送信後、「整理番号」「パスワード」が表示されますので必ず控えておいてください。</u> 申込完了通知のメールが登録メールアドレス宛に送信されますので、確認してください。</p> <p>※申込完了通知メールが届かない場合は、至急、静岡県警察本部警務課採用チームへ連絡してください。 ※申込内容に明らかな誤りがあった場合には、訂正することがあります。 ※インターネットから申込みをした場合は、受験票を印刷できる環境が必要です。</p>
	<p>申込内容照会</p> <p>「申込内容照会」から申し込んだ試験の審査状況等が確認できます。</p>
	<p>受験票ダウンロード</p> <p>審査終了後、受験票の発行をメールにて通知しますので、「申込内容照会」画面から受験票(PDF)をダウンロードしてください。</p>
申込期間	<p>令和6年3月1日(金)～4月5日(金)午後5時15分まで</p> <p>※インターネットは24時間受付ですが、最終日(4月5日)は午後5時15分までの受付となります。 ※受付期間終了直前はシステムが混み合うおそれがあるため、余裕を持って申し込んでください。使用される端末や通信回線上の障害等によるトラブルについては、一切責任を負いません。</p>
受験票	<p><u>令和6年4月22日(月)頃に発行します。</u></p> <p>※メールにてお知らせしますので、ふじのくに電子申請サービスを通じて受験票(PDFファイル)をダウンロードしてください。印刷(はがきサイズにプリントアウト)した<u>受験票の署名欄に自筆で署名するとともに、必ず写真を貼り、第1次試験当日に持参してください。</u></p>

※ インターネットからの申込みができない人は、県警ホームページ上にダウンロード申込用紙（手書き）もあります。ダウンロード申込用紙の記入上の注意事項等については10ページを確認してください。

7 合格等発表

区 分	時 期	方 法
第1次試験合格発表	5月17日(金) 午前10時	合格者の受験番号を、静岡県庁本館玄関にある掲示板に掲示するほか、静岡県警察ホームページに掲載します。 合格者のみ文書で通知します。
面接試験受験対象者の発表	5月31日(金) 午前10時	面接試験受験対象者の受験番号を、静岡県庁本館玄関にある掲示板に掲示するほか、静岡県警察ホームページに掲載します。 ※ 文書による通知は行いませんので、自己責任において必ず確認してください。
最終合格発表	7月中旬	合格者の受験番号を、静岡県庁本館玄関にある掲示板に掲示するほか、静岡県警察ホームページに掲載します。 また、最終合格者のみ文書で合格をお知らせします。 (日程の詳細は、第2次試験の第1日に説明します。)

- 【注】 ● 静岡県警察ホームページ (<http://www.pref.shizuoka.jp/police/saiyo/>)
 ● 試験結果の通知文書は合格発表日に発送します。通知文書の到着・不到着の確認はいたしませんので、合否の確認は、自己責任において掲示板やインターネット等で行ってください。第1次試験の合格を確認したにもかかわらず、通知文書が5月23日(木)午後0時までにお手元に届かない場合は、静岡県警察本部警務課採用チームに至急連絡してください。
 ● 新型コロナウイルス感染症の感染拡大等の影響により、日程が変更となる場合があります。

8 試験結果の情報提供

下表の「提供を受けることができる人」は、自己情報の提供を受けることができます。

提供を希望する場合は、あらかじめ連絡の上、受験者本人が本人であることを証明する書類（運転免許証等）を持参して、静岡県警察本部までお越しください。電話、はがき等によることはできません。

試 験	提供を受ける ことができる人	内 容	期 間 ※	場 所
第1次試験	不合格者	第1次試験の総合得点 科目別得点及び順位	令和6年5月17日(金)から 令和6年6月17日(月)まで	静岡県警察本部
第2次試験	第1日試験不合格者	科目別得点 第1次試験の総合得点及び順位	令和6年7月中旬から約1か月間 (詳細日程は、第1次試験合格者 に別途連絡します。)	静岡県警察本部
	第2日試験受験者	科目別得点 総合得点及び順位		郵送又は 静岡県警察本部

※ 上記期間のうち、土曜日、日曜日及び祝日を除く午前8時30分から午後5時15分の間に受け付けます。

なお、業務の都合上、担当者が不在となる場合がありますので、事前に採用チーム宛て(0120-489276)に連絡をしてください。

9 給与

(1) 初任給 警察官A：月額 約239,033円、警察官B：月額 約205,919円(令和6年1月1日現在 3.7%の地域手当を含む。)

* 給与月額は、一般的な新卒者の例で算出しています。経歴に応じて増(減)額することがあります。

(2) このほかに、期末・勤勉手当が条件に応じて支給されます。また、警察学校を卒業し、各警察署に勤務すると、時間外勤務手当、特殊勤務手当、通勤手当、住居手当等が条件に応じて支給されます。

10 昇任

上位の階級への昇任は、すべて公正・平等な昇任試験によって行われ、この試験に合格すると、一定期間、管区警察学校や警察大学校に入学し、幹部警察官になる道が開かれています。

11 福利・厚生

警察共済組合、職員互助会等の制度があり、医療費の給付、住宅資金等の貸付け等が行われています。

12 試験問題等の例題の公開

教養試験及び小論文試験等の例題をインターネット(静岡県人事委員会ホームページ <https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/saiyoinfo/employ/index.html>)で公開するとともに、県民サービスセンター、県総合庁舎行政資料コーナー、県立中央図書館、静岡県総合教育センターにおいて配架しています。

13 その他

(1) 採用試験の実施に関して収集する個人情報、この採用試験のために必要な範囲でのみ使用します。

(2) 地震などの災害等により、やむを得ず試験日程を変更する場合があります。その場合は静岡県警察ホームページから確認することができます。(URLは裏表紙を参照)

【ダウンロード申込用紙使用上の注意事項等】

※ インターネットから申込みをする人は読む必要はありません。

① ダウンロード申込用紙の準備

インターネットから申込みができない人は、静岡県警察ホームページ採用情報内にダウンロード申込用紙（以下「申込用紙」という。）がありますので、受験票とともに印字した上、下記注意事項等を確認しながら記入してください。

② 記入上の注意事項等

- ・記入事項の記載について不正があると、採用される資格を失うことがあります。
- ・申込用紙は、必ず受験者本人が黒インクのボールペン又は万年筆を使って、かみ書で丁寧に記入してください。
- ・記入不要欄を除くすべての欄に漏れなく記入してください。記入事項がないときには、記入欄に斜線を引いてください。記入欄が足りない場合は、適当な用紙を添付して記入してください。
- ・申込用紙及び受験票の試験区分欄は、「警察官A一般」「警察官A自己推薦」「警察官A情報処理（サイバー犯罪捜査）」「警察官B一般」のいずれかの左欄に「○」印を記入してください。
- ・現住所以外の連絡先欄は、実家等の連絡が取りやすい場所を記入し、それが現住所と同じ場合は「現住所と同じ」と記入してください。
- ・氏名欄の「男・女」の別、学歴欄の「卒・卒見込・修・修見込・その他」は該当するものを○で囲んでください。（その他について（ ）内に内容を記入してください）
- ・学歴欄については、原則として中学校卒業後の学歴を記入（中学校については任意記入とします。）してください。大学の場合は学部名、学科名を記入してください。
- ・【一般区分及び情報処理区分で受験する人のみ】経歴評定を申請する場合は、経歴評定申請欄に段位、級位、スコアなどの経歴内容を必ず記入してください。

また、7ページに記載されている各資格の「区分」及び「コード番号」も必ず記入してください。対象外の経歴を記入しても評定しません。

- ・【自己推薦で受験する人のみ】自己推薦を申請する場合は、自己推薦申請欄に自己アピールする内容を必ず記入してください。

時期等欄に自己アピールに係る時期（取得年月日等）を記入してください。

例：第〇回全国高校サッカー選手権大会出場、令和元年から1年間アメリカで勤務、令和2年から現在までの約3年間〇〇銀行在籍

※ 任意で経歴等を証明する資料を添付しても構いません。

自己推薦コード番号欄は下記一覧表から当てはまるコード番号を記入してください。

【自己推薦コード番号一覧表】

コード番号	1	2	3	4	5	6
種別	身体能力	資格	専門知識	技能	人間性	その他

- ・受験票の氏名欄等も必ず記入し、受験票が届くのに都合のよい送り先を明記して、63 円切手を忘れずに貼ってください。（写真は申込み時には貼らないでください。）
- ・申込用紙提出後、記入事項に変更が生じた場合は、速やかに静岡県警察本部警務課採用チームに連絡してください。
- ・申込用紙下段「受験申込のきっかけとなった警察職員の活動（業務説明会や受験相談等）があれば、その職員の所属コードを記入してください（複数選択可）」欄については、11 ページの所属コード一覧から選択し、コード番号を記入してください。1つの枠に1つの所属コードを記入してください。4つ以上ある場合は、枠外に追記してください。

③ 採用チームへの郵送（受付最終日の4月5日（金）までの消印有効）

郵送先 〒420-8610 静岡市葵区追手町9番6号 静岡県警察本部警務課採用チーム

記入した申込用紙及び受験票を一緒に封筒に入れ、静岡県警察本部警務課採用チームに郵送してください。

直接の持込みは受理しません。また、警察署、交番、駐在所等では、郵送及び持込みに関わらず受理しません。

郵送の際、封筒の表に「警察官A申込み」又は「警察官B申込み」と朱書きしてください。差出記録が確認できる特定記録郵便等による方法が確実です。

④ 受験票の交付

受験票は4月22日（月）頃に発送しますので、5月7日（火）までにお手元に届かない場合は、静岡県警察本部警務課採用チームに至急連絡してください。受験票を受領したら、必ず写真を貼って第1次試験当日に持参してください。

【所属コード一覧】

所 属	コード	所 属	コード	所 属	コード
下田警察署	01	浜松西警察署	26	警察本部捜査第三課	51
伊豆中央警察署	02	細江警察署	27	警察本部捜査支援分析課	52
三島警察署	03	湖西警察署	28	警察本部鑑識課	53
伊東警察署	04	警察本部総務課	29	警察本部科学捜査研究所	54
熱海警察署	05	警察本部広報課	30	警察本部機動捜査隊	55
沼津警察署	06	警察本部会計課	31	警察本部組織犯罪対策課	56
裾野警察署	07	警察本部施設課	32	警察本部捜査第四課	57
御殿場警察署	08	警察本部留置管理課	33	警察本部器物銃器国際捜査課	58
富士警察署	09	警察本部警務課	34	警察本部交通企画課	59
富士宮警察署	10	警察本部厚生課	35	警察本部交通指導課	60
清水警察署	11	警察本部教養課	36	警察本部交通規制課	61
静岡中央警察署	12	警察本部監察課	37	警察本部運転免許課	62
静岡南警察署	13	警察本部警察相談課	38	警察本部交通機動隊	63
藤枝警察署	14	警察本部デジタル企画課	39	警察本部高速道路交通警察隊	64
焼津警察署	15	警察本部システム開発課	40	警察本部公安課	65
島田警察署	16	警察本部生活安全企画課	41	警察本部警備課	66
牧之原警察署	17	警察本部人身安全少年課	42	警察本部緊急事態対策課	67
菊川警察署	18	警察本部生活保安課	43	警察本部外事課	68
掛川警察署	19	警察本部サイバー犯罪対策課	44	警察本部機動隊	69
袋井警察署	20	警察本部地域課	45	静岡県警察 浜松市警察部庶務課	70
磐田警察署	21	警察本部通信指令課	46	静岡県警察学校	71
天竜警察署	22	警察本部機動警ら課	47	該当なし	72
浜北警察署	23	警察本部刑事企画課	48		
浜松東警察署	24	警察本部捜査第一課	49		
浜松中央警察署	25	警察本部捜査第二課	50		

【試験会場案内】

○ 静岡県立大学 草薙キャンパス (静岡市駿河区谷田52-1)

- JR「草薙駅」南口 (県大、美術館口) 下車 徒歩約15分
- 静岡鉄道「県立美術館前駅」又は「草薙駅」下車 徒歩約15分



※ 小鹿キャンパスではありませんので、注意してください。

<試験会場について>

公共交通機関を利用し、時間に余裕をもって来場してください。

試験会場は変更になる場合があります。

その際は、該当する受験申込者に文書でお知らせするほか、静岡県警察ホームページに掲載します。

《試験についての問合せ先》

静岡県警察本部警務課採用チーム

電話番号 (054) 271-0110 (内線 2632、2633)

フリーダイヤル 0120-489276

〒420-8610 静岡市葵区追手町9番6号

静岡県警察本部 (県庁別館)

《試験についての情報掲載》

静岡県警察本部ホームページ

<http://www.pref.shizuoka.jp/police/saiyo/>

静岡県人事委員会ホームページ

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensei/saiyoinfo/employ/index.html>



安全・安心を持ち歩こう!

犯罪、不審者や
交通事故情報を
マップ表示

あなたも気軽に
防犯活動!
まちをパトロール

2月1日
リリース!



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう

どこでもポリス